

2014年2月27日

世界初フルデジタルスピーカー実現技術を提供する 株式会社 Trigence Semiconductor への出資を決定

株式会社産業革新機構（以下「INCJ」）（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 能見公一）は、フルデジタルスピーカーを実現可能にする独自のデジタル処理技術を実装した半導体の開発販売を行う株式会社 Trigence Semiconductor（以下「Trigence」）（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 岡村淳一）に対し、更なる事業展開の加速に必要な成長資金として4.8億円を上限とする出資を行うことを決定しました。

また、既存株主であるインテル キャピタル（インテルの投資部門）も、Trigence に対して出資を行います。

これまでの音響システムは、デジタル録音された CD 等の音源を、一旦アナログ変換装置によりアナログ波に変換し、アンプ装置により波を増幅したうえで、アナログ波でスピーカーコイルを駆動させる仕組みをとっていました。このため、消費電力の削減や省スペースの観点で大きな打開策がなく、音響システム企業にとっても、音質以外の大きな差別化要素を作ることが困難でした。

こうした環境において、Trigence では、世界初のデジタル信号によるスピーカーコイル駆動が可能なデジタル変調技術「Dnote®」を開発しました。Dnote®では、デジタル音源をアナログ波に変換せずに直接スピーカー駆動をさせることが可能です。これによって、音響システムからアナログ変換装置やアンプ装置を無くすことができるため、消費電力の大幅削減、省スペース化に大きく貢献します。

現在、スマートフォンやタブレット等のモバイル機器で音楽や動画を楽しむ機会は急増しています。同時に、こうした機会で活躍するモバイル機器向けワイヤレススピーカーやヘッドフォン等の市場も急成長しています。当社技術の特徴である低消費電力や省スペース化は、モバイル機器の利用可能時間の長時間化や小型化につながり、スマートフォンやタブレットだけでなく、スピーカーやヘッドフォンの大きな差異化を可能にします。EV/HEV 化がすすむ自動車向け音響機器市場でも同様に、Dnote®は、低消費電力や省スペースという大きな差別化が可能な有力ソリューションとして期待されます。

加えて、Dnote®により、デジタル音源をそのままデジタル出力することが可能なため、高音質のままでの再生が可能となり、昨今成長の兆しがみえるハイレゾ（高音質）音楽配信の

対応機器に対しても最適なソリューションになることが期待されます。既に、音響/車載機器メーカーや半導体メーカーなど複数の企業が Dnote®を採用、もしくは採用検討を開始しております。

Trigence はこれまで独立行政法人科学技術振興機構（JST）やインテル キャピタル等の支援を受け、研究開発に注力してきました。INCJ は、Trigence に対し、より小型化や大出力化が可能な新規半導体製品の開発、海外展開のための経営体制強化に必要な資金を供給するとともに、社外取締役の派遣、事業開発体制の強化等の経営サポートを行います。

INCJ は上記の取り組みを通じて、同社が、日本発の「低消費電力」「高品質」な音響プラットフォームを、グローバルに展開できるよう支援してまいります。

株式会社 Trigence Semiconductor（トライジェンス セミコンダクター）について

設立	2006 年 2 月
事業内容	独自のデジタル処理技術「Dnote®」を実装した音響向け半導体の設計・販売
本社所在地	東京都千代田区外神田 4-13-5
アメリカ子会社	Trigence Semiconductor USA（シリコンバレー）
代表取締役社長	岡村 淳一
HP	http://www.trigence.co.jp/

インテル キャピタルについて

インテル キャピタルは、世界規模で事業を展開するインテルの投資部門で、革新的な技術を有する世界中の企業に株式投資を行っています。インテル キャピタルの投資対象は、企業向け IT やモビリティ、一般向けインターネット、デジタル・メディア、半導体製造技術などの分野でハードウェア、ソフトウェアおよびサービスを提供する広範な企業にわたります。インテル キャピタルは、1991 年以來、55 カ国で 1,339 以上の企業に対して、累積 110 億ドル以上の投資を行ってきました。これまでに、投資先企業の内およそ 206 社が世界各地の株式市場で株式を公開し、また 344 社が第三者の企業により買収または吸収されました。2013 年にインテル キャピタルは、世界全体で 146 の案件で総額約 3 億 3,300 万ドルを投資しました。これらの内、約 49%は米国・カナダ以外の地域への投資です。インテル キャピタルに関する情報は、<http://www.intel.com/jp/capital/index.htm> で入手できます。

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令

に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

INCJでは、これまでに合計60件・総額約7,000億円の投資決定を発表しました。当面、環境エネルギーにも関連するエレクトロニクスやITの分野、バイオ・ライフサイエンス分野、水ビジネス等インフラ関連分野などにおいて、知財ファンドによる先端的な基礎技術の事業展開、ベンチャー企業等の事業拡大、技術等を核とした事業の再編・統合、海外企業の買収等による積極的な海外展開などに対してハンズオン投資を行ってまいります。

(本発表資料のお問い合わせ先)

(株)産業革新機構 (INCJ) 企画調整室 望月・畑

東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング21階

電話：03-5218-7200 (大代表)

注) Dnote は、日本、米国及びその他の国における 株式会社 Trigence Semiconductor の商標または登録商標です。

<別添> 世界初フルデジタルスピーカー実現技術を提供する 株式会社Trigence Semiconductorへの出資を決定

投資対象: 株式会社Trigence Semiconductor(トライジェンス セミコンダクター)
 事業内容: 独自のデジタル処理技術を実装した音響向け半導体「Dnote®」シリーズの開発販売
 投資金額: 4.8億円(上限)



- 日本発「低消費電力」「高品質」音響プラットフォームのグローバル展開を支援
- フルデジタル化により音響分野の新市場開拓を支援

※ Dnote は、日本、米国及びその他の国における 株式会社Trigence Semiconductor の商標または登録商標です。